



琉球大学

第 40 号

同窓会会報

平成 30 年 3 月 12 日



附属中学校から法文学部棟、教育学部棟などを望む (32 頁を参照)

目 次

■会長あいさつ	2	■同窓会と琉大役員との意見交換会を開催	21
■チャリティゴルフコンペを開催	3	■第46回沖縄の寮歌・大学の歌祭りに参加	21
■講演会を開催	4	■母校情報	
■同窓会事務局だより		琉大発ベンチャー・琉大ブランド商品	22
平成29年度定期総会概要	5	教育余話	23
平成28年度決算・平成29年度予算概要	6	退職される恩師紹介	24
平成29年度事業計画	6	活躍する琉大生	24
平成29年度支部長会	7	サークル活動紹介	25
支部長及び事務局長連絡先	7	琉大吹奏楽部OBロビーコンサート	25
岸本正之氏著書「地球政府」紹介	8	■東西南北だより	
■琉球大学支援事業		琉大憲法会の伝統	26
「平成29年度教員候補者選考試験対策講座」		■学部・学科同窓会総会概要等	
を実施・平成30年度対策講座計画表	9	医学部医学科同窓会講演会・懇親会	27
琉球大学へ課外活動奨励金を贈呈	10	商学経営学友会総会・懇親会	27
教員候補者選考試験合格体験記	11	音楽科同窓会60周年記念発表会	27
「琉球大学開学70周年記念事業」に向けて	12	■文芸投稿コーナー	28
■支部活動報告	13	■寄附情報	29
■インタビュー		■ご案内・お願い	
沖縄県副知事 富川盛武	18	「定期総会」等のご案内	32
医師、作家 太田靖之	19	会費納入についてのお願い	32
■第4回琉球大学ホームカミングデーを開催	20	■編集後記	
■平成30年琉球大学賀詞交歓会	21		



会長あいさつ

琉球大学同窓会会長 幸 喜 徳 子
(教育学部体育科 1966年卒 14期)

千原キャンパスを吹き抜ける春風も心地良いこの頃、同窓生の皆様にはますますご健勝のこととお喜び申し上げます。日頃は琉大同窓会活動に格別のご支援、ご協力を賜り誠に有難うございます。お蔭様で2017年も充実した活動が継続できましたことをご報告申し上げます。

4月にチャリティゴルフコンペを行い、80組、310人の同窓生他、一般県民のご参加を頂き盛会裏に終わることが出来ました。その収益金、100万円を琉球大学に寄贈し学生の課外活動費として活用して頂いております。

2017年7月開催の総会の折には「沖縄の発展を担って その1」として、安里祥徳氏(元沖縄バヤリース会長)、嶺井政治氏(元沖縄県副知事)をお迎えし講演と対談を行い、盛会裏のうちに終了致しました。

引き続き、同窓会から大学へ「今帰仁言葉」の実際の会話集120巻を寄贈致しました。会話をした方は既に故人となられ、ご遺族から私がお預かりしていた貴重なテープを研究者の資料として寄贈したものです。

懇親会では宮古支部を中心に舞台を担当下さり感謝申し上げます。

長年、本会が無償で行っている教員候補者採用試験対策講座の今年の成果は最終合格者44名の合格が確認できております。合格された皆様には心よりお祝い申し上げます。合格率およそ30パーセントで高率の成績を上げております。ご本人はもとより講師の先生方のご指導のすばらしさは私共の誇りでございます。

さて、2018年も総会に続き「沖縄の発展を担って その2」として稲嶺恵一氏(元沖縄県知事)、小禄邦男氏(琉球放送(株)代表取締役最高顧問)をお迎えしての講演を予定しております。無償開放しておりますのでどなたでも歓迎です。

今年は再来年の琉球大学開学70周年に向け募金活動をスタート致します。会員の皆様のご協力をお願い申し上げます。

本年も役職員一同、鋭意努力致しますので、何卒変わらぬご支援ご指導を賜りますようお願い申し上げます。会員の皆様の益々のご健康とご多幸を祈念致し挨拶と致します。

チャリティゴルフコンペを開催



プレー前の集合記念撮影

琉球大学同窓会主催チャリティゴルフコンペが、平成29年4月13日(木)に琉球ゴルフ倶楽部で開催されました。当日は、快晴の下絶好のゴルフ日和となり、県内外から80組、310名と大勢のプレーヤーが腕を競いました。

チャリティゴルフコンペ実行委員会の稲嶺恵一特別顧問(元沖縄県知事、㈱りゅうせき参与)の始球式により午前7時からプレーを開始し、午前の部44組、12時スタートの午後の部36組で競技を行いました。

当日は、同窓会役員(三役、評議員)のほか沖縄県経営者協会はじめ各企業の方々がスタッフとしてゴルフコンペの運営にあたり、スムーズにコンペを進めることができました。各コースには1カ所ずつワンオンコンテスト用のホールを設け、延べ372名の方々が果敢にワンオンに挑戦しました。午後6時前にはすべてのプレーヤーがホールアウトし滞りなくプレーを終了しました。各プレーヤーはプレー終了後抽選を行い、全員に78社の協賛企業より提供された素晴らしい賞品が当たりました。

プレーの結果、比嘉弘さんが見事優勝し、「JAL東京往

復ペア航空券」を獲得しました。その他準優勝、3位、10位、30位、77位、女性1位、同2位、同3位、ベストグロスに賞品が贈られ、7月29日(土)に開催された同窓会総会・懇親会で表彰式・賞品授与が行われました。

今回のゴルフコンペの開催にあたり、多大なご協力をいただいた企業、団体、個人の皆様に心より感謝申し上げます。



実行委員会幹部



稲嶺特別顧問による始球式



南コースチーム



東コースチーム



西コースチーム



抽選会



表彰式における賞品授与

講演会を開催



安里祥徳氏の講演

平成29年7月29日(土)、定期総会に合せて琉球大学同窓会主催の講演会を開催しました。広く県民を対象にした講演会は「沖縄の発展を担って・その1」をテーマに、元株式会社沖縄バヤリス会長の安里祥徳氏及び元沖縄県副知事、元沖縄電力株式会社会長などを歴任された嶺井政治氏を講師としてお招きし、戦後灰燼に帰した沖縄で郷土の復興に心血を注いでこられた体験談などを語っていただきました。

安里祥徳氏は、戦前の沖縄一中の3年次に徴兵され、沖縄戦で米軍の捕虜となり、ハワイの捕虜収容所に送られた体験や、苦学の末沖縄外国語学校及び琉球大学を



嶺井政治氏の講演

卒業して、米国留学をされたことを話されました。その後、沖縄バヤリスの前身であるアメリカンボトリング社に就職し、日本復帰に伴う新会社の設立、本土企業との厳しい市場競争、そして平成26年に他社へ譲渡するまでの沖縄バヤリス社の歴史とその社会的背景、経済情勢についてデータも示しながら話されました。

嶺井政治氏は、幸喜同窓会会長との対談方式で講演をされ、兵役から終戦を経て屋我地村役場入りし、その後琉球政府に採用され用地交渉の困難な仕事をされたことや当時のキャラウェー高等弁務官とやり取りしたこと、また、佐藤元総理との逸話などを話されました。その後、NHK九

州本部の部長及び沖縄放送局長をされたこと、また、県に呼び戻されて、総務部長、企業局長、副知事をされたこと、それから沖縄電力社長や会長、沖縄型特定免税店社長、那覇空港ビルディング社長、JTA会長などを歴任されたこ

とやその時々のエピソードなどを話されました。お二方とも戦争を経験され、また、戦後の苦難な状況の中ご苦労を重ね、沖縄の発展を担ってこられた貴重な体験に基づくお話や提言に、約120名の聴衆は熱心に聴き入っていました。



講演会の模様



講演会の模様

同窓会事務局だより

平成29年度定期総会概要

平成29年度の同窓会定期総会が7月29日(土)、那覇市のホテルロイヤルオリオンで開かれ、会員約70名が出席しました。幸喜徳子同窓会会長の挨拶の後、議長団に、上原政英氏(8期)、玉城きみ子氏(21期)が選出され、議事が進められました。議案として、平成28年度の会務報告及び収支決算報告、組織の強化や在学生の活動支援、同窓会活動に関する情報提供を積極的に行うため平成28年9月に開設したフェイスブックなどのインターネット環境の活用等を方針とした平成29年度の事業計画案及び収支予算案に加え、会則の一部改正案が示され、同窓会事務局より説明がありました。審議の結果、すべての議案が原案どおり承認されました。

この度の会則の一部改正は、会則に会費の返還についての規定がなく、会費納入者より返還要求があった場

合に現行会則では対応できない状況にあるため、会費の返還要求に応じた場合、返還要求が次々となされる可能性があり、收拾がつかなくなるおそれがあることから、一旦納入した会費の返還には応じない旨の規定を追加したものです。

定期総会後の講演会に続き開かれた懇親会は、同窓会宮古支部会員による「とうがにあやぐ」で幕開け。大城肇琉球大学学長をはじめ、株式会社りゅうせきの稲嶺恵一参与、株式会社JAL JTAセールスの渡部勝磨代表取締役社長よりご挨拶を頂きました。また、同窓会より琉球大学へ貴重な今帰仁言葉の録音テープが贈呈されました。

会場は、同窓会のますますの発展と会員の交流と結集による活性化に向けた語らいで、和やかなながらも活気ある賑わいをみせていました。



懇親会における集合写真



幸喜同窓会長の挨拶



定期総会の模様



宮古支部会員による余興



平成28年度決算・平成29年度予算概要



平成28年度決算	
(1) 収入総額	24,766,178 円
うち会費収入	13,530,000 円
(2) 支出総額	11,550,372 円
① 運営費	6,300,196 円
② 事業費	5,250,176 円
(3) 繰越金額	13,215,806 円

平成29年度予算概要	
(1) 収入総額	27,675,806 円
うち会費収入	13,500,000 円
(2) 支出総額	10,985,000 円
① 運営費	5,910,000 円
② 事業費	5,075,000 円
(3) 繰越金額	16,690,806 円



平成29年度事業計画



年 月 日		事 業 計 画
平成29年	6月 7日(水)	教員候補者選考試験対策講座 (4月5日開講 6月／4回開催)
	6月23日(金)	監査 (平成28年度決算)
	7月 4日(火)	評議員会
	"	三役会
	7月 5日(水)	教員候補者選考試験対策講座 (7月／2回開催)
	7月 8日(土)	関西支部総会・懇親会
	7月29日(土)	平成29年度支部長会・定期総会・講演会・懇親会
	8月 1日(火)	教員候補者選考試験対策講座 (8月／11回開催)
	8月 5日(土)	宮古支部総会・懇親会
	10月11日(水)	会報編集委員会
	10月13日(金)	三役会
	10月21日(土)	関東支部総会・懇親会
	10月28日(土)	九州・山口支部総会・懇親会
	11月22日(水)	会報編集委員会
	11月29日(水)	久米島支部総会・懇親会 (中止)
平成30年	12月 2日(土)	第4回琉球大学ホームカミングデー
	12月13日(水)	会報編集委員会
	1月 4日(木)	琉球大学賀詞交歓会
	1月21日(日)	八重山支部総会・懇親会
	1月24日(水)	会報編集委員会
	1月31日(水)	三役会
	"	同窓会と琉大役員との意見交換会

年 月 日	事 業 計 画
平成30年	2月10日(土) 奄美支部結成 30 周年総会・懇親会
	2月21日(水) 会報編集委員会
	2月24日(土) 沖縄寮歌・大学の歌祭り
	3月12日(月) 会報 (第 40 号) 発行
	3月20日(火) 琉球大学卒業式
	4月 6日(金) 琉球大学入学式、入会金納付案内
	4月11日(水) 平成 30 年度教員候補者選考試験対策講座開講式
	5月 日 () 寄附金 (学生課外活動奨励金) 贈呈
	5月22日(火) 琉球大学開学記念日

平成29年度支部長会



定期総会に先立って、12時から支部長会を開催しました。今回は各支部長のほか事務局長にも参加してもらい県内外7支部から10名が出席しました。

幸喜徳子同窓会長の挨拶のあと、各支部よりこの1年間の支部活動状況の報告がありました。各支部活動状況報告に続き、本部との意見交換及び事務連絡があり、本部と支部との連携をあらためて確認し、1時間半の支部長会を終了しました。

支部長及び事務局長連絡先

支 部(会員数)	名 称	氏 名	電話番号	住所・E-メールアドレス
関 東(590)	支 部 長	高 山 厚 子	03-6226-2200 (中島信一郎法律事務所)	〒104-0061 東京都中央区銀座 4-9-6 陽光銀座三原橋ビル6F (中島信一郎法律事務所内) takayama2002atsuko@yahoo.co.jp
	事務局長	金 城 利 光	080-5020-4369	kinjo@idj.co.jp
関 西(150)	支 部 長	国 吉 兼 三	0721-55-0948	〒586-0094 大阪府河内長野市小山田町 3079-17
	事務局長	小 渡 照 生	0729-64-7237	〒578-0937 東大阪市花園本町 2-12-28 nahatuboya282@yahoo.co.jp
九 州・山 口 (100)	支 部 長	松 下 博 文	092-925-9160	matusita@chikushi-u.ac.jp
	事務局長	四 郎 丸 治		〒812-0013 福岡県粕屋郡新宮町大字上府 634-1 エルメゾン新徳 C-102 shirou@ka2.so-net.ne.jp
奄 美(200)	支 部 長	川 内 進	0997-52-1111 (内 1450)	〒894-8555 鹿児島県奄美市名瀬幸町 25-8 奄美市農業委員会事務局
	事務局長	岡 村 誠	0997-54-2030	makototao@flute.ocn.ne.jp
久米島(60)	支 部 長	儀 間 周 倫	098-985-8956	〒901-3105 久米島町字宇根 54
	事務局長	平 田 光 一	090-9782-5663	〒901-3115 久米島町字儀間 494
宮 古(300)	支 部 長	長 濱 幸 男	0980-72-9664	〒906-0011 宮古島市平良字東仲宗根添 1693-5 na.yukio@miyako-ma.jp
	事務局長	平 良 雅 則	0980-72-9860	〒906-0012 宮古島市平良字西里 675-3
八重山(200)	支 部 長	知 念 修	090-1946-5214	〒907-0004 石垣市字登野城 1263-12
	事務局長	仲 皿 利 治	090-2395-0769	〒907-0022 石垣市字大川 450-13



岸本正之氏著書「地球政府 2017地球市民教育の義務化」 新刊の紹介



2017年9月、岸本正之氏2作目の著書「地球政府 2017 地球市民教育の義務化」が発刊されました。

9月にロサンゼルスで岸本邸にお伺いした際、ご本人から直接、新著を贈呈賜り光栄なことでした。2年前に1作目「私達は小さな水の星に生きている 地球政府の樹立を目指そう」を出版されたばかりなのであまりの速さに驚きました。

早速、ホテルで2、3日籠り、感動のうちに読み終えたのです。岸本氏の深い恒久平和の思想、その為の地球市民教育の義務化、それを実践する地球市民教育体制の構築等について、ほとぼしる情熱が感じられる勢いで書かれています。新著は384ページと前作よりスリムで読みやすく、更に興味深い内容です。

主題章は「戦争を起こさせない地球」となっており、「グローバル・イシューはグローバル・ガバナンスで解決する。グローバル・ガバナンスにはグローバル・ガバメントが不可欠であることは自明の理」と冒頭にきっぱり言い切っておられます。

岸本ご夫妻は生涯のメンターであるポール・コックス博士との出会いをきっかけに博士に薫陶を受け、活動を共にされています。そして長年継続されている、アフリカの飢餓に苦しむ子ども達の支援活動やサモアの熱帯雨林保護等、その他様々な社会貢献活動も具体例が分かりやすく言及されています。

琉球大学同窓の先輩が実践しておられる世界規模の偉業を多くの人々に伝えたいと、2015年には琉球

琉球大学同窓会会長 幸喜徳子

(教育学部体育科 1966年卒 14期)

大学の構内に同窓会が岸本正之氏の顕彰碑を建立しました。緑濃い木々のうっそうと茂るキャンパスの一角に凛とした佇まいで学生の散策の場となっております。顕彰碑の文言は次のとおりです。

「教育の力は地球発展の原動力 地球市民教育で恒久平和の実現が可能になる 行政の力は多民族共生共栄の推進力 地球政府無くして地球社会の問題は解決できない 地球は一つ、人類も一つ、目指せ地球政府」

私が顕彰碑建立を企画した理由も新著を読んで頂ければご理解頂ける内容です。2016年4月には岸本ご夫妻が私財を投じて琉球大学岸本基金も設立されました。琉球大学への基金遺贈額は最大で7億円が約束され、既に基金の振り込みもスタートしております。岸本ご夫妻は日本国内におけるエンドウメント文化の先駆けとして大きな貢献をされ、同窓の後輩として感謝の念に堪えません。

エンドウメント文化を日本でも普及させたいというご夫妻の思いも触れられており、この著書が多方面にわたって人びとに影響を与え続けるものと思います。多くの皆様に読んでいただきたいと思います。



岸本正之氏は琉球大学英文科卒業(5期生)の同窓生で、グローバルな環境保護活動や慈善活動を長年継続され、また、琉球大学及び同窓会へも多大な支援をされており、2016年4月に私財を投じて琉球大学へ7億円の基金を設立しました。

文芸社 定価(本体1800+税)

(販売収益の全額を慈善事業に寄付)



琉球銀行

琉球大学支援事業

「平成29年度教員候補者選考試験対策講座」を実施

同窓会では会員の就職活動支援の一環として、毎年、琉球大学の在学生及び卒業生を対象に、沖縄県が実施する「教員候補者選考試験」対策として無料講座を開講しています。

昨年は4月5日～8月16日までの間、全25回（一次対策は週1回、二次対策は約2週間通し）に亘って実施し、教員選考試験対策の経験豊富な講師陣の指導により151人（3年次を除くと148人、延べ976人）が受講しました。そのうち44人（同窓会把握分）が最終試験に合格し、合格率29.7%と高い実績を上げています。

本講座は、本年も次表「平成30年度教育候補者選考試験対策講座計画表」のとおり開設する予定ですので、多くの同窓生が受講されるよう希望しています。



平成30年度教員候補者選考試験 対策講座計画表

No.	月/日(曜)	講 座 の 内 容	講 師 氏 名	講 師 略 歴	区 分
	4月11日(水)	開講式			
1	4月11日(水)	教員に求められるもの（選考の視点）	津留 健二	元県教育長	一 次 試 験 対 策
2	4月18日(水)	志願書の書き方	大嶺 和男	元 高 校 長	
3	4月25日(水)	一般教養Ⅰ・練習問題	上江洲 優	元 高 校 長	
4	5月2日(水)	一般教養Ⅱ・練習問題			
5	5月9日(水)	一般教養Ⅲ・琉球歴史1・練習問題	比屋根為勝	元小学校長	
6	5月16日(水)	一般教養Ⅳ・琉球歴史2・練習問題			
7	5月23日(水)	学習指導要領概説Ⅰ（小中学校）	山田 稔	元小学校長	
8	5月30日(水)	学習指導要領概説Ⅱ（高等学校）	慶田 喜則	元 高 校 長	
9	6月6日(水)	教育法規Ⅰ・（基本法、演習）	山田 稔	元小学校長	
10	6月13日(水)	教育法規Ⅱ・（基本法、演習）			
11	6月20日(水)	教育法規Ⅲ・（諸法、演習）	大嶺 和男	元 高 校 長	二 次 試 験 対 策 ・ 個 別 指 導
12	6月27日(水)	教育法規Ⅳ・（諸法、演習）			
13	7月4日(水)	県施策・教育施策等	新垣 信雄	元 高 校 長	
14	8月1日(水)	面接調書・自己アピール	大嶺 和男	元 高 校 長	
15	8月2日(木)	個人面接の傾向と対策	山田 稔	元小学校長	
16	8月3日(金)	論文試験①	諸見 成明	元小学校長	
17	8月6日(月)	論文試験②			
18	8月7日(火)	論文試験③			
19	8月8日(水)	論文試験④			
20	8月9日(木)	外国語・外国語活動及び面接（小学校）	上江洲公志	元 高 校 長	
		英作文及び英語面接（中学校・高校）	新垣 信雄	元 高 校 長	
21	8月10日(金)	学習指導案	大 嶺 和 男	元 高 校 長	
22	8月13日(月)	模擬授業①	諸見 成明	元小学校長	
23	8月14日(火)	模擬授業②			
24	8月15日(水)	模擬授業③			
25	8月16日(木)	英文自己アピール文と面接指導	上江洲公志・新垣信雄		

【時間】毎回18:00～19:30 【場所】50周年記念館多目的室(A・B)／50周年記念館交流ラウンジ

※交流ラウンジは8月9日及び8月16日に併用使用

【連絡・問合せ先】 〒903-0213 西原町字千原1番地 琉球大学同窓会(事務局長：山里将順、書記：喜名順子)

電話：098-895-8039／FAX：098-895-8163 Eメール：r-dousou@to.jim.u-ryukyu.ac.jp

琉球大学へ課外活動奨励金を贈呈



平成29年5月22日(月)、幸喜徳子同窓会長ほか役員が琉球大学に大城肇学長を訪ね、学生の「課外活動奨励金」として100万円の寄附金を贈呈しました。

この「課外活動奨励金」は、同窓会が学生の課外活動奨励の一環として県外へ派遣される際の活動費として使ってもらおうと平成元年から毎年寄附しているもので、今年は4月13日に開催したチャリティゴルフコンペの収益金が充てられました。

平成元年から平成29年までの寄附金の累計総額は約3千4百万円にも上っています。

大学によると、平成28年度は28団体、延べ452人に対して支給され、県外派遣費用として活用されており、大城学長からは「同窓会から毎年多額の寄附をいただき感謝しています。学生の課外活動支援に有効に活用させていただきます。」との感謝の言葉がありました。



みんなをつなぐ あしたにつなぐ
 **琉球新報**
 THE RYUKYU SHIMPO

代表取締役社長 富田 詢一

本社 〒900-8525 那覇市天久 905
 TEL098-865-5111(代表)

<https://ryukyushimpo.jp>



沖縄銀行

教育学部生涯教育課程
子ども地域教育コース 4年次

當間 育美

この度は、たくさんの方々の支えがあり、小学校教員候補者選考試験に合格することができました。琉球大学同窓会の方々や、教育学部の先生方、総合実践センターの先生方にはお忙しいなか対策講座を開いてくださり充実した試験対策をすることができたことを心から感謝申し上げます。また、共に勉強してきた勉強会のメンバーや、陰ながら応援してくれた両親などの支えがあり、自信をもって試験に挑むことが出来ました。本当にありがとうございます。それでは初めに教員候補者選考試験について簡単に説明いたします。

小学校教員候補者試験は1次試験と2次試験があります。1次試験は筆記試験で、出題内容は小学校全9科目と教職教養、沖縄県の教育に関する施策についての問題が出題されます。2次試験は面接、模擬授業、論作文、音楽実技、体育実技があります。特に2次試験は面接や模擬授業など、グループでの対策が効果的なため、私は友人たちとグループをつくり面接練習や模擬授業の対策などを行いました。また、琉球大学同窓会や教育学部の講座に参加しました。特に、琉球大学同窓会の講座の小論文対策では「本番で練習と同じ力を発揮する練習」が重要だと指導を賜り、このことを頭に入れて対策に取り組むことで本番ではいつも通り落ち着いて自分の力を出すことが出来ました。

次に、私の勉強法について紹介します。1次試験では、膨大な量をコツコツと暗記する必要があり辛いこともありましたが、友人とグループをつくり週2回テストをすることでモチベーションを保ち、一緒に頑張る仲間にも励まされたりもしました。また、私は暗記することに対して苦手意識をもっていたため、内容を理解することで膨大な量の暗記を乗り越えました。教職教養は実践センターや教育学部の先生方に解説講座を開いて頂き、内容理解に努めました。小学校全科については、オープンセサミの参考書と問

題集を使って勉強しました。苦手な理科や社会は同じ問題を3周して解き、時間をかけて克服しました。勉強法は人それぞれだと思いますが、自分が苦手な分野は得意な人に聞き、自分が得意な分野は逆に教える、というふうに協力し合うことが合格への近道だと思います。

最後に、これから教員候補者選考試験を受ける方へ伝えたいことが2つあります。1つ目は、試験対策を通して教職を目指すものとして知識や技能を身につけるという意識で試験対策に取り組むということです。私は、筆記試験対策や論作文、面接、模擬授業対策などを通して教育への理解が深まり、教職を目指す者としての知識をつけることができたと感じます。その努力の積み重ねが合格への近道だと感じています。二つ目は、周りの人を頼るということです。私は様々な先生方をお願いして試験対策を行ってもらったり、学生同士で情報交換をしたりしました。そのおかげで、効率的に効果的な勉強ができたと思います。また、琉球大学同窓会の講座は対策のポイントが絞られており、毎回大きな収穫がありました。参加して本当に良かったと思います。採用試験を通して培ったものを糧に、4月から教員として頑張っていきたいと思っています。

地元と ともに

コザ信用金庫

理事長 上間 義正

〒904-0031 沖縄市上地2丁目10番1号 ☎(098)933-1137(代表)

<http://www.kozashinkin.co.jp>

「琉球大学開学70周年記念事業」に向けて

琉球大学は2020年5月に開学70周年を迎えます。開学70周年記念事業は、琉球大学、琉球大学後援財団、琉球大学同窓会の三者の協力により、以下の事業を推進し、地域社会の発展に寄与することとしています。

1. 琉球大学GAPファンドの設立
—大学発ベンチャー支援—
2. 地域連携企画展並びに国際交流シンポジウムの開催
3. 奨学・教育研究・国際交流奨励事業の拡充
4. 記念式典及び記念誌の発行
5. キャンパス環境整備事業

これらの記念事業を遂行するために、2018年4月1日から2020年12月31日まで寄附金の募集を行います。全体の募金目標額は1億2千万円で、同窓会部会としては1千5百万円を募金目標額としています。寄附金の払込み方法については次のとおりです。

所定の払込取扱票により右の取扱金融機関へ振込み願います。

- ・琉球銀行宜野湾支店 普通預金 № 674033
- ・沖縄銀行我如古支店 普通預金 № 1705536
- ・沖縄海邦銀行真栄原支店 普通預金 № 0648680
- ・沖縄県農業協同組合我如古支店 普通貯金 № 0014304
- ・コザ信用金庫宜野湾支店 普通預金 № 0150800

以上の口座名義：琉球大学開学70周年記念事業募金推進本部 事務局長 大瀨善秀

- ・ゆうちょ銀行 01770-8-147001

以上の口座名義：琉球大学開学70周年記念事業募金推進本部

※所定の払込用紙がない場合は、同窓会事務局(098-895-8039)までご連絡下さい。払込書を送付いたします。

その他、募金推進本部事務局(琉球大学後援財団)窓口での直接払いも受付けますので、皆様のご協力をよろしくお願いいたします。



島も、人も、結ぶチカラ。

私たちは、約束します。

本島・離島を結び、そこにある暮らしと経済を結び、
一人ひとりの末永い幸せを結ぶことを。
すべては沖縄のために。



建設コンサルタント



株式会社

国

建

代表取締役社長 比嘉 盛朋

那覇市久茂地1-2-20 OTV国和プラザ TEL 098-862-1106

<http://www.kuniken.co.jp>

支部活動報告



関東支部



支部長 高山厚子

関東支部では、2017年10月21日(土)に、会員約65名の参加を得て2017年度の支部総会及び懇親会を開催いたしました。例年同様、ご来賓として大城肇学長、本部同窓会の幸喜徳子会長、増田昌人副会長、東京沖縄県人会の仲松健雄会長にご臨席いただくことができました。隔年で合流していただいている機械工学科同窓会の関東支部の皆さんのご参加もあり、また新たな同窓の方々のご参加も賜り、盛会裡に終了いたしました。「10月の第三土曜日は琉大同窓会関東支部の日」を合言葉に、今後も参加

者の拡大に努めていきたいと思いをします。

今年度の総会におけるご講演は、沖縄県東京事務所長の比嘉徳和氏(経済学科1982年卒)にお願いいたしました。「東京事務所あれこれ」と題して、沖縄と本土の関係の歴史的な展開、その中での東京事務所の活動、などをお話いただきました。今さらながら沖縄の難しい立ち位置を再確認する機会になりました。

懇親会は昨年同様、二次会を同一施設で行ったこともあり、ほとんどの方が引き続き参加され、大いに盛り上がりました。学長や同窓会長を含め、世代の垣根を越えた同窓会らしい懇親の場になりました。

関東支部では、2017年4月にも同窓の大先輩である岸本正之氏(1957年英文科卒)の「明日の地球社会を読む」と題した講演会を開催いたしました。今後も、多くの会員が参加できる企画をし、参加者の増員へ向けて同窓会のあり方を工夫して参りたいと思いをします。



岸本正之氏の講演会
(平成 29 年 4 月 16 日)



比嘉徳和沖縄県東京事務所長の
講演



総会・懇親会 (平成 29 年 10 月 21 日「日本教育会館 飛鳥の間」)

..... ◆ ◆ ◆



関西支部



支部長 国吉兼三

2017年7月8日第28回関西支部定期総会が大阪市大正区で開かれました。例年どおり7月の第二土曜日で、場所は沖縄料理の店「おもしろ」でした。母校琉球大学から大城肇学長がお見えになり、同窓会本部から幸喜徳子会長と石川清勇副会長にご臨席いただき、支部会員29人が出席しました。総勢32名のもと、家族的雰囲気ながらも盛大に実施されました。

前回、前々回とも初参加の会員が5名も来てくれたのですが、今回は新会員は1名のみでした。しかし、出席会員数は近年になく多勢(前回、前々回より5～6名多い)で、椅子席の会場は立錐の余地がない状態になってしまいました。うれしい悲鳴です。前は2010年・2011年卒業の若い人が3名も来てくれ出席者の平均年齢を下げたのですが、今回はまた元に戻ってしまいました。いかに若

い会員に来てもらうか、積年の課題です。

支部総会の後同月29日に本部の定期総会があり、関西支部から裁副支部長と小渡事務局長が出席しました。講演会を含むこの催しは那覇市の「ホテルロイヤルオリオン」で行われ、支部長会、定期総会、懇親会を終えたあと、九州・山口支部の呼び掛けで「全国7支部合同親睦会」が場所を変えて持たれました。このような会合は初めての試みだということでした。もちろん、関西支部から先の二人も出席しています。

さて、もう一つの支部活動である「秋の昼食会」は、定例の11月23日に兵庫県の赤穂温泉「かんぼの宿・赤穂」で実施されました。

赤穂といえば赤穂浪士で有名な場所、兵庫県の西の端に位置し、かんぼの宿は瀬戸内海に突き出た岬の高台にあります。当日は天気恵まれ、家島諸島や小豆島を望むことができました。参加者は19名、いつもの顔の会員が多かったのですが、岡山市から初参加のI氏は新幹線で馳せ参じてくださいました。温泉に浸かり、会席料理を味わいながら自己紹介をすませ、話題もいつか琉球王国時代の「拝領墓」のことや、戦後の申告戸籍・地籍問題のことで盛り上がり、郷里沖縄のことを知るまたとない勉強会となりました。宿から赤穂駅に向かう途中、大石神社と赤穂城跡を見学して参加者全員が記念写真におさまり、実り多い親睦昼食会を無事終えることができました。

支部活動はこの他に、年一回の支部会報の発行(昨年10号に達す)、年二回程度の役員会や会報編集委員会の開催などがあります。



総会・懇親会(平成29年7月8日「おもろ」)



秋の昼食会(平成29年11月23日)

.....◇◇◇.....

九州・山口支部

支部長 松下博文

2017年度(第16回)支部定時総会・懇親会は、10月28日(土)、今回も同じく博多上呉服町の琉球料理「旅人(たびんちゅ)」で開催されました。当日は台風22号が沖縄本島を暴風域に巻きこみながら太平洋を北上し、九州の南方海上から西日本・東日本の広範囲で激しい雨や強風を吹きつけ、空の便は日航や全日空を中心に少なくとも250便が欠航し、沖縄からご出席予定であった幸喜徳子会長をはじめ同窓会本部の皆様、顧問の照屋常信先生、さらには宮崎・長崎からの参加予定者を含め急遽10名が参加できなくなりました。

しかし上京中の大城肇学長は羽田経由で無事に来福、山口2名、福岡8名、佐賀2名、大分2名、熊本3名、長崎1名、そして九州場所をまちかに控えて東京から大相撲高砂部屋の一ノ矢(松田哲博)氏が参加され、例年に比べやや寂しいとはいえ、学長を含め総勢21名の総会・懇親会と相成りました。悪天候の中、各地からお集まりいただきました同窓生の皆様方には、この場を借りて、こころよ

り御礼申し上げます。ありがとうございました。

総会では、上間哲副支部長から17年度の決算報告・活動報告ならびに18年度の予算案・活動案が示され、ついで、野沢俊司氏(法文・英文77年入学・元毎日新聞西部本社編集局長)によって、「沖縄と本土間にあるギャップ」と題するミニ講義が行われました。氏のお話で特に興味深かったのは、1995年の米兵の少女暴行事件に端を発した大田昌秀沖縄県知事の軍用地の代理署名拒否にまつわる沖縄のマスコミと本土のマスコミの記事扱いの温度差で、現場取材した野沢氏にしか語れない沖縄メディア史(戦後政治史)の貴重なお話を伺うことができました。

懇親会では、昨年に続き友寄正彦氏(法文・社会73年入学)による三線と島唄、「安波節」「あがろーぎ節」「かたみ節」「つんだら節」が披露され、泡盛、オリオンビール、各種焼酎、ゴーヤチャンプル、台風何するものぞ、あれこれマンチャーの料理に満腹・酩酊しながら、いつものように、琉大逍遥歌の大合唱、総会の前日に上間副支部長が

飲み屋で偶然に出くわし初参加した若干28歳の山川陽さん(理学部卒)の万歳三唱でめでたく幕を閉じました。30年度総会・懇親会は10月27日(土曜日)、同じく「旅人」で開催されます。友人・知人をお誘いあわせの上、ぜひ、ご参加ください。また、東京オリンピック開催の2020年の総会と懇親会は奄美支部と合同で鹿児島市内で開催する予定にしております。そろそろ前準備に入りたく思っております。



総会・懇親会 (平成 29 年 10 月 28 日「旅人」)



琉大逍遥歌大合唱

..... ◆ ◆ ◆

奄美支部 支部長 川内 進

奄美支部は昭和63年1月結成から今年で丁度30年となり、奄美支部結成30周年総会・懇親会が平成30年2月10日(土)に奄美観光ホテルにおいて開催されました。

当日は、同窓会本部から幸喜徳子会長、上原正信副会長、大学から大城肇学長、花城梨枝子副学長にご臨席いただきました。

総会では、昨年の同窓会物故者への黙祷を捧げたあと、支部長挨拶に続き来賓の幸喜同窓会長及び大城学長からご挨拶を賜りました。同窓会本部から支部活動費、お祝儀の贈呈のあと議事審議に入り、これまでの経過報告、決算報告及び次年度の事業計画、予算案の審議が行われ、すべて原案どおり承認されました。

議事審議のあと、大津幸夫顧問による「奄美支部30年の歩みについて」の講話があり、同窓会設立の経緯やこれまでの活動などについて話され、また、大津顧問が作成した「奄美支部結成30周年記念誌」についての説明がありました。

引き続き行われた懇親会では来賓としてご臨席いただいた福山敏裕奄美市市長のご挨拶や上原正信同窓会副会長の乾杯の音頭があり、また、民謡の披露や若手会員の余興などにより賑やかな懇親会となりました。最後に築島成子顧問による万歳三唱で懇親会を締めくくりました。

奄美支部としては、平成30年度に結成30年記念誌の発行を含む結成30周年事業の催事を行うこととしており、具体的な内容はこれから詰めていくこととしています。



支部結成 30 周年総会
(平成 30 年 2 月 10 日「奄美観光ホテル」)



記念集合写真



懇親会における余興

久米島支部

支部長 儀間周倫

久米島支部は、子供達の人材育成を目的に学校や大学、関係団体との連携、久米島高校生の琉大合格者の激励などの活動に取り組んでいます。

昨年6月には、本島在住の久米島出身退職教職員会や久米島退職教職員互助会との交流会を開催し、パークゴルフなどを楽しみました。さらに、11月には本島出身で久米島の小中学校に赴任経験された方々が来島され、島の小中学校の校長・教頭、教育委員会職員も参加し、ソフトボール対戦や情報交換など充実した交流ができました。

交流会では、自分たちが久米島で体験したことを子ども達に伝え、そして都市部と離島の体験交流を通して幅広い視野で創造的に課題に取り組む人材育成に繋げていくことを確認し、共有することができた意義深い交流会となりました。

今後も、島内外の多くの方々との交流を深め、島の人材育成に努めて行きます。



ソフトボール交流親睦会（平成29年11月4日）

年間活動計画(29年10月～30年9月)

1. 役員会(適宜)
2. 支部総会
3. 新会員歓迎、激励会
4. 本部活動参加
5. 大学、各学校、関係団体との連携、情報交換
6. 親睦レクリエーション
7. 琉大合格者の激励
8. その他(必要に応じて対応)

..... ◆ ◆ ◆

宮古支部

支部長 長濱幸男

琉大同窓会宮古支部は、会員相互の親睦、琉球大学との連携、地域の子供教室を主体に活動しています。この1年の活動をご報告申し上げます。

- ① 2017年1月18日(水)宮古島市立東小学校体育館において「昔遊び」(アダン葉風車作り、けん玉、コマ回し、草笛)を実践指導しました。1年生87人が体験学習をし、同窓会員6名が参加しました。
- ② 2017年3月20日(月)長濱グラウンドゴルフコートにて親睦グラウンドゴルフ、参加者14名。
- ③ 2017年6月12日(月)宮古島市放課後児童館において「昔遊び」(アダン葉風車作り、けん玉、コマ回し、草笛)を実践指導しました。小学生26人が体験学習をし、同窓会員5名が参加しました。
- ④ 2017年6月22日(木)琉球大学サテライト宮古島キャンパス(宮古島市中央公民館)にて平成29年度出前授業(狩俣繁久先生の方言講座)に会員12名が受講しました。
- ⑤ 2017年6月23日(金)トゲのないアダンの苗提供(東小学校、青少年自然の家、ふたば保育園、鏡原幼稚園)
- ⑥ 2017年6月28日(水)宮古島市鏡原幼稚園におい

て「昔遊び」(アダン葉風車作り、けん玉、コマ回し、草笛)を実践指導しました。園児54人が体験学習をし、同窓会員4名が参加しました。

- ⑦ 2017年8月5日(土)レストランのむらにて、「琉大同窓会宮古支部総会」を開催、会員28名参加、琉球大学より花城梨枝子副学長が来島し、会員を激励して下さいました。また同窓会本部からは、会長の幸喜徳子さん、副会長の照屋寛八さんが激励して下さいました。
- ⑧ 支部総会后「教育講演会」を開催、受講者61名。講師・久貝弥嗣(琉球大学法文学部人間科学科2002卒)、演題「宮古人のルーツを探る」



総会・懇親会（平成29年8月5日「レストランのむら」）

◆ 一年間の活動 ◆

<平成29年>

3月16日 琉球大学合格者激励会

仲田森和支部長、宮良永秀副支部長、仲皿利治事務局長が八重山高校を訪問し、仲田支部長が合格者にお祝いを贈呈するとともに「グローバル化が進み自分自身で開拓していかないといけない時代になっている。大学では広い視野を持ち、主体的に学業に励んで欲しい」と激励のメッセージを送りました。平成29年の合格者は八重山高校18名、八重山農林高校1名となっています。



<平成30年>

1月21日 親睦グランドゴルフ大会

午後3時から市内グランドゴルフ場にて開催されました。ホールインワンが多数で、レベルの高い大会となりましたが、ナイスショットには歓声も上がり快晴の空のもと、和やかにプレーをすることができました。



1月21日 八重山支部総会・新年会

午後6時半から市内の中華料理店で総会および新年会が開かれました。大城肇琉球大学長、幸喜徳子同窓会長、石川清勇副会長も出席されました。総会では活動報告、決算報告等のあと役員選出が行われ、知念修支部長以下新しい役員体制が整いました。また、幸喜会長より八重山支部へ活動費が贈呈されました。



引き続き行われた新年会では、グランドゴルフ表彰、舞踊、愉快的スピーチ、詩吟も飛び出し、賑やかに会員の親睦が図られました。

◎新役員名

- 支部長：知念 修
- 副支部長：眞榮田義功、宮良永秀、前上里徹
- 事務局長：仲皿利治

同窓会のトータルプロデュース企業

SALAT
Salat Corporation

株式会社 サラト <http://www.salat.co.jp/>

本社 〒670-0948 兵庫県姫路市北条宮の町172 TEL.079-284-1380
東京支社 〒110-0016 東京都台東区台東4-18-7 シモジンビル5F TEL.03-3832-6381

Interview

琉球大学を卒業後、各方面でご活躍の同窓生を紹介します。

今回は、沖縄県副知事・富川盛武氏と医師、作家・太田靖之氏に学生時代や恩師の思い出、卒業後の活動状況など振り返っていただきました。



沖縄県副知事
富川 盛武
1971年卒 19期
(法文学部経済学科)

■恩師の思い出は

山里将晃先生、嘉数啓先生など米国留学(米留)経験のバリバリの先生がおられ、相当刺激を受けました。また学生と年齢がそんなに離れておらず、ある意味で仲良しで、講義の合間に野球のグローブを手に、キャッチボールをすることもありました。

■当時大学はどういう状況でしたか

学生運動が盛んで、在学中には一部の学生による土木ビル占拠事件がありました。これとは別で、私たちは勉強会と称して、サルトル、カミュ、カフカなどを読みました。解釈はたどたどしかったと思いますが、雰囲気というものがありました。粋がっていたところもあったとは思いますが、ですね。

■住まいは

首里崎山にカトリック教会の寮があって、信者とか関係なく20人くらいが住んでいました。神父さんはおおらかな方でしたね。食事では苦労した思い出がありますが、当時大学の近くに夜遅くまで営業している食堂があって、あちらの5セントの焼きそばがおいしかった思い出があります。

■アルバイトとかサークル活動は

他の人から引く継ぐ形で家庭教師をやりましたが、これが結構いい収入でした。サークル活動では1年ほどギターアンサンブルに所属していました。

■当時の就職活動はどうだった

私は本土復帰前の71年に卒業しましたが、当時は公務員や銀行などの募集が少なく、狭き門でした。そのため大学院の試験を受けた記憶があります。私は明治大学に行きましたが、そこでは研究にのめり込みました。研究者になってからは日々楽しく過ごすことができ、「勉強」と「研究」は違うものだと感じました。

■少し話を戻しますが、琉大時代の指導教官と富川さんの研究内容を

指導教官は山里先生で、私は地域発展論、アジア経済論ということで、沖縄の将来の発展について研究しました。あのころやっていたことは、今思うと沖縄21世紀ビジョンの中のアジア経済戦略構想につながるテーマだったと思います。

本土復帰後、県の振興計画は第1次から4次までは主に格差是正がテーマでした。それが21世紀ビジョンに変わってから平準値に近づいた。復帰50年に向けては、近年注目されるアジアとの関係で沖縄の発展が現実味を帯びてくる。自分たちの予想がぼつぼつ現実化しており、研究者冥利に尽きると思っています。

■琉大の後輩たちへ

捲土重来という言葉がありますが、一回くらい失敗してもなんでもありません。人間万事塞翁が馬です。自分が楽しいと思うことを続けてやっていったら結構社会で通用していきますよ。継続すればレベルアップしますからぜひ頑張ってくださいね。

(文責:上原修)



あなたの暮らし丸ごと応援!

JAおきなわ

JAおきなわ

検索



医師、作家

太田 靖之

1984年卒 32期
(理学部海洋学科)

■琉球大学を志望した理由は何ですか

若いうちは将来何になりたいのか、何になったら良いのかなど分からないものです。

私もそうでした。何かしないといけないと焦りだけを感じていました。都立高校を卒業する時に閃いたのは、これからの時代は海が肝かしれないという漠然としたものでした。海から海洋学と沖縄を連想して琉球大学を選びました。

■就職活動はどうでしたか

大学卒業時はもつといい加減で、就職しようと思い立ったのは4年次の正月ぐらいだったと思います。教授に勧められたというか、それしかなかった就職先はサルベージ会社でした。

面接に行った会社の受付にあったオーシャン・タグボートの模型を見て、ここにしよう決めました。会社側が私を取るかどうかといことは考えもしませんでした。はたして希望はかなって就職、待っていたのは甲板員兼潜水夫見習いのような船上生活でした。

肉体労働でしたが、それなりに刺激のあるもので新鮮な生活でした。嵐の晩に遭難船曳航の為に基地を出る時のときめきは心に刻まれています。もし、あのまま海の現場に身を置いていたら、今の私は別の生き方をしていたと思います。海は魅力的でした。

しかし、やがて私は東京の本社でデスク・ワークをしなければいけなくなりました。海洋測量調査の報告書の作成などです。この時初めて通勤電車に乗って給与取りになったのだと自覚しました。そして、このサラリーマン生活が性に合わないことにもすぐに気づきました。1週間もしないうちに、もう辞めようかと思い始めました。幸いと言うべきか長くどうするべきかを悩む必要はありませんでした。なぜなら会社のほうが潰れてしまったからです。

■海洋学科を出たのに医師になった理由は

それで閃いたのは、男一匹喰っていくには手に職をつけ

るべきだということです。職人になるという選択肢もまだ可能な年齢でしたが、職ならぬライセンスを手に入れることを思いついて、浮かんだのが医師免許でした。国内の医学部に入り直す経済的余裕はなく、英語の通じる身近な途上国ということでフィリピンに渡りました。日本を離れる時は将来的には米国で医師をするという漠然とした目標を持っていました。そして4年後医学部を卒業して米国の医師試験にも合格したのですが、米国ではよい就職先に巡り会えませんでした。良い機会に出会わない時は、さっさと見切りをつけ別のルートを模索するという方法をこの時に学んだような気がします。

日本でも国家試験に受かり医師免許を得たので帰国することにしました。仕事先を探すにあたって要領がわからないので、東京都のイエローページを見て名を聞いたことがある病院に 電話を掛けるという愚策的就職活動をしました。

結局は医師をしていた兄の紹介で名古屋の病院で働き始めました。産婦人科を専門に選んだのは、就職した病院の産婦人科が傾きかけていて、それを手伝い始めたのがきっかけです。必要とされているところで働くというのは良い選択肢だと思います。

同じ理由から今はフリーランスの産婦人科医として危機的な状況にあるにある日本の周産期医療を極めて微力ながら応援しています。琉大在学時は地質の踏査した沖縄や奄美諸島の病院にもよく手伝いに行きます。たぶん、これも何かの縁だろうと感じます。

■フィリピンでの医師免許についてはどうでしたか

フィリピンには医師にしてくれたという恩を感じているのですが、国として外国人である私には医師免許を与えたくはなかったようです。フィリピンの国家試験にも合格したのですが免許の発行は拒まれました。理不尽に感じたことと海外で生きる一日本人として不服を申し立てて国を相手に裁判を起こしました。

訴訟には十年余りがかかりましたが最高裁で勝訴しました。正しい道理は通る。そう感じました。

思いつきのままに生きてきて分かったことは、「閃き」と「縁」は大切なものだということでした。

(文責：宮城重哲)

第4回琉球大学 ホームカミングデーを開催

琉球大学と琉球大学同窓会の共催による第4回琉球大学ホームカミングデーが平成29年12月2日(土)に琉球大学大学会館等において開催されました。

琉球大学ホームカミングデーは、本学卒業生が旧友、在学生等と世代を超えた新しい交流を築くことと、琉球大学の「今」を知っていただくことを目的としたもので、卒業生、在学生、教職員及び地域の方々等、約100人が参加しました。当日は、琉大モダンジャズオーケストラによる軽快なジャズ演奏で開幕となり、大城学長の挨拶のあと、琉大吹奏楽部同窓生によるサクソ四重奏があり、クラシック音楽からスタンダードジャズまで幅広い演奏で和やかな雰囲気となりました。

そのあと、大型MICEエリアにおけるまちづくりについての工学部小野研究室の研究発表に引き続き、琉大在学中に起業した株式会社Payke代表取締役社長の古田奎輔氏と、株式会社がちゆん代表取締役社長の国仲瞬氏による講演があり、大学中に起業した経緯や思い、現在の取り組みなど、次世代をつくる若い経営者の勢いのある熱い講話に会場全体がエネルギーをもらえるような、熱気ある会場となりました。

古田氏、国仲氏は沖縄県委託事業である「次世代アントレプレナー人材育成推進事業」の下、琉大産学官連携推進機構と民間企業との協働で行われた学生を対象に

したアントレプレナー人材育成推進プログラム「Ryukyu Startup Challenge (琉球スタートアップチャレンジ)」による第1期生で、琉大産学官連携推進機構では、ベンチャー企業講座を継続して取り組んでおり、想いの高い学生が、沖縄の未来、世界をみたビジネスへのチャレンジをするという具体的な面白い講座、取り組みが展開されています。

熱い講話のあと、生協中央食堂にて懇親会が行われました。琉球大学同窓会照屋寛八副会長の乾杯の音頭で始まった懇親会は幅広い層の参加者が交流する場となり、琉大八重山芸能研究会による演舞などが披露され、楽しいひとときとなりました。



古田奎輔氏の講演



国仲瞬氏の講演



懇親会の様子

新中糖産業株式会社

代表取締役社長 上原 周夫

〒903-0103 沖縄県西原町字小那覇 628 番地 1

TEL. (098) 945-3311

FAX. (098) 835-8179

私たちは「観光」と「交流」で地域社会に貢献します。

47 訪日客受入
万人の実績

We welcomed 470 Thousand
Inbound Tourists in 2017

One Two Smile OTS
沖縄ツーリスト

本社 那覇市松尾1-2-3 ☎(098)862-1111
●旅行部 ●レンタカー部

本店 ☎(098)862-1111
<http://www.otsinfo.co.jp>

安心・安全・快適ドライブ

OTS レンタカー

沖縄地区予約センター

☎0120-34-3732

平成30年琉球大学賀詞交歓会

平成30年琉球大学新年賀詞交歓会が1月4日(木)に琉球大学本部棟において行われ、賀詞交歓会に先立って行われた学長年頭挨拶を含め同窓会からも幸喜徳子会長をはじめ役員が出席しました。交歓会では大城肇学長の挨拶及び新城恵子経営協議会委員(沖縄県中小企業家同友会代表理事)の乾杯の音頭があり、琉球大学、後援財団、同窓会等の関係者が一堂に会し新年を寿ぐなごやかな交歓会となりました。

約1時間にわたる懇親のあと、関係者が集まって記念撮影を行い、賀詞交歓会を終了しました。



同窓会と琉球大学役員との意見交換会を開催

平成30年1月31日(水)、琉球大学役員と同窓会三役との意見交換会を開催しました。同窓会と琉球大学は緊密に連携を図り、母校及び地域社会の発展に寄与することが重要であるとの認識のもと、従来より琉球大学役員と同窓会三役との意見交換会を開催してまいりました。

今回は、琉球大学から大城学長はじめ役員5名、同窓会から幸喜会長はじめ三役6名が出席し、母校及び同窓会に対する要望や連携策など諸々の事案について忌憚のない意見交換を行いました。



第46回沖縄の寮歌・大学の歌祭りに参加

第46回「沖縄の寮歌・大学の歌祭り」が平成30年2月24日(土)に那覇市旭町の沖縄県市町村自治会館で開催されました。

当日は、23大学から約130名の方々が参加し、上原政英寮歌振興会副会長(琉大同窓会評議員)の開会宣言で幕開けしました。これまで会長を務めた赤嶺允行氏(早大)に変わり新会長となった平良健康会長(北大)の挨拶、前会長の赤嶺允之氏の乾杯の音頭で会場は盛り上がり、旧

制高等学校を含む各大学が揃いの制服・制帽、法被・鉢巻などで登場し、それぞれの母校の寮歌や校歌を力強く歌い上げました。

琉球大学からは同窓生16名が参加し、照屋寛八副会長のアコーディオン伴奏に合わせて上原政英評議員の銅鑼の音とともに「琉大逍遙歌」と「琉球大学の歌 雲よ湧け、千原の空に」を力強く歌い、会場の雰囲気の大いに盛り上げました。



上原政英寮歌振興会副会長の開会宣言



琉球大学同窓会の力強い歌声

母 校 情 報



琉大発ベンチャー・琉大ブランド商品



琉球大学発ベンチャー認定制度スタート!

平成29年度より、本学の研究シーズの実用化を加速することで地域の産業振興と地域競争力の向上に資することを目的として、大学発のベンチャー企業に対して認定制度をスタートしました。平成29年7月19日(水)、琉球大学発ベンチャーとして4社((株)Grancell、(株)ジェクタス・イノベーターズ、(株)ヘルシーアイランズ、琉球ポーテ(株))に認定称号記が授与されました。



平成 29 年 7 月 19 日(水)
称号記念授与式開催

会 社 概 要

(株)グランセル:

脂肪組織由来幹細胞の培養上清を原料とするスキンケア製品、医学部外品、医薬品の製造販売

(株)ジェクタス・イノベーターズ: 感染症ワクチン、感染症診断薬開発

(株)ヘルシーアイランズ:

奄美シマアザミを原料とする健康食品の製造及び販売

琉球ポーテ(株):

沖縄由来の原料およびそれを配合した化粧品の開発・製造・販売

琉球大学ブランド商品開発!

平成28年度より、本学の知的資産を利用したブランド商品開発を支援する事業をスタートし、初年度は琉球大学のウコン(琉大CL2号)を使ったカレー「琉球大学ロマン」と新しい酵母(R217)を使った泡盛「琉球大学の泡盛」ができました。商品デザインには学生も参加しています。琉球大学の泡盛は、2017年秋季全国酒類コンクール泡盛部門で第一位を受賞しました。今後とも新たなブランド商品を開発予定ですので、ご期待いただければ幸いです。



商品名『琉球大学ロマン』(カレー)
【共同開発者】
琉球大学農学部教授 本村 恵二
株式会社 あじとや

商品名『琉球大学の泡盛』(泡盛)
【共同開発者】
琉球大学農学部教授 外山 博英
株式会社 石川酒造場
株式会社 バイオジェット





爽快といううまさ。

DRAFT BEER

STOPI
未成年者
飲酒

飲酒は20歳になってから。飲酒運転は法律で禁止されています。妊娠中や授乳期の飲酒は、胎児・乳児の発育に悪影響を与えるおそれがあります。お酒は、おいしく、適量に。のんだあとはリサイクル ⑤

オリオンビール株式会社



教育余話



琉球大学図書館とハワイ大学図書館が連携協力することで坂巻・宝玲文庫の「琉球コレクション」がデジタルアーカイブとして公開されているが、案外知らない人もいるのでこの機会に紹介したい。その中に近世の琉球国の国王が食した食材、約300種の性質や薬効、そして食べ合わせを記載した琉球国最初の本草書『御膳本草』がある。1832年(尚瀨王29年)、御典医諸見里通寛(後の渡嘉敷親雲上)が、38歳の時執筆し、国王より賞賛と褒美をいただいている。管理栄養士を目指している学生たちにぜひ読んでもらいたい史料の一つであり、直接アーカイブにアクセスしてもらいたい。

『御膳本草』から知ることのできたことの一部を紹介したい。

- 1) ゴーヤー、ナーベラー、ンジャナ、島らっきょう等沖縄伝統野菜が豊富に記載されている。
- 2) ウイキョウ、フーチバー、クワンソウなどハーブもすでに伝来している。
- 3) チデークニ、ターンムなどの根菜類、大豆やジーマーミ、もやしなど豆類も豊かである。
- 4) 米をはじめ、麦、アワ、キビやトウモロコシの穀物が記載されている。
- 5) 豚と羊(山羊)は、臓器別に細かく記載されており重要な食材として位置付け



『御膳本草』



教育学部教授
(生涯健康教育コース)

真栄城 勉

1976年卒 24期
教育学部保健体育科

られている。野獣は、鹿と猪が記載されている。

- 6) 現代では食することのない犬や青鳩や白鷺などは、薬効として食した可能性がある。
- 7) カツオやメバル、タコ、イカ、サザエ、アサリなど魚介類の食材と魚介類の製造品を含めて、73種類と最も多く記載されている。
- 8) 調味料は塩、味噌、醤油、酢が主要品と推察される。
- 9) 豆腐やカマボコ、塩辛、カラスミ、ヨモギ餅など加工食品の記載もある。
- 10) 銀杏、桃、梨、枇杷、荔枝等の果物は、他藩や他国から取り寄せていたことが推察される。

この著書が書かれた時期は、飢餓や干ばつが続き、多くの死者が出たこともあり蘇鉄を食することもあった時代である。国王の健康を案ずる御典医として食療に努めたことが想像できる。また、効能については、小児や老人、妊婦への食療についての記載も多くあり、琉球国の庶民への配慮もあったものと推察される。健康長寿は食事から、「ヌチグスイ」、「クスイナイビタン」は食事への感謝を示す沖縄の言葉である。現代沖縄の長寿県復活のためにも、管理栄養士や体育教師を目指した教え子たちの活躍を期待したいものである。

Beyond the Bank

あなたの明日へ

OKINAWA
KAIHO 海邦銀行

退職される恩師紹介（平成30年3月31日付）

～長い間、お疲れさまでした～

法文学部 教授 大城 学
法文学部 教授 浜崎盛康
教育学部 教授 島袋恒男
教育学部 教授 真栄城勉
教育学部 教授 金城 昇
教育学部 教授 小田切忠人

理学部 教授 梯 祥郎
理学部 教授 中村宗一
理学部 教授 金子譲一
工学部 教授 高良富夫
工学部 教授 金子英治

農学部 教授 弘中和憲
農学部 准教授 上地俊徳
医学部 教授 辻野久美子
医学部 教授 砂川洋子
医学部 准教授 上田智之
大学院 医学研究科 教授 宮崎哲次

※掲載についてご了承いただいた先生方です。

活躍する琉大生 平成29年度司法試験合格祝賀会を開催

琉球大学法科大学院は、9月24日（日）、那覇市のANAクラウンプラザホテル沖縄ハーバービューにおいて「平成29年度司法試験合格祝賀会」を開催しました。

今回の合格者は受験者31人に対して6人（平良泉一郎さん、小川祐さん、仲井間滋之さん、井上祥平さん、崎山敬太郎さん、大澤系太さん）で、合格率19.35%（法科大学院74校中18位）。昨年度は合格者2人、合格率6.1%（47位）だったことから、合格者数、合格率とも大幅に改善しました。

祝賀会では、6人の合格者に向け、大城肇琉球大学長をはじめ、平良孝夫沖縄債権回収サービス代表取締役会長、保久盛長哲沖縄銀行常務取締役、伊藤和美琉球銀行

人事部長、照屋兼一沖縄弁護士会会長より、今後の活躍を期待する祝辞と関係者からのお祝いメッセージ（祝電）が披露されました。

また、合格者一人一人から挨拶があり、過去に受験して合格できなかったとき、家族、教員、友人、沖縄弁護士会、沖縄銀行、琉球銀行らお世話になった方々の支えがあって、モチベーションを保つことができ合格に繋がったとの感謝の気持ちや、今後の抱負が述べられました。

会場では、合格者の家族らも招待され、合格者と一緒にお世話になった教員や協力弁護士に挨拶して回る姿が見られ、終始和やかな雰囲気の祝賀会となりました。

（琉球大学HPより転載）



合格者の皆さん



祝辞を述べる大城学長



サークル活動紹介



「初の全国出場」 琉球大学モダンジャズオーケストラ

代表者 理学部物質地球科学科物理系 2 年次
下地 克尚

昨年は、同窓会の皆様から多額のご寄付を頂戴し、誠に感謝しております。お陰様で2017年5月に行われた山野楽器ビッグバンドジャズコンテスト(YBBJC)において5位という結果を残し、2017年8月開催の第48回YBBJC本選に出場することができました。結果は35団体中27位となりましたが、本選出場はサークルの創立から7回目の参加にて初の快挙になり、来年度以降も予選を突破し更なる好成績を残そうと日々の練習に力を入れています。

私たちはビッグバンドというジャンルでジャズを演奏しており、週に2度、20人前後のメンバーで練習に励んでいます。演奏のスタイルは立って演奏するようにし、リズムに乗って体を動かしながら音楽を楽しんでいます。

活動はYBBJCだけでなく、地方のイベントやストリートライブもしており、昨年はストリートライブを含めた年内のライブ数が36回を超え、週に1回以上のペースで演奏した年となりました。

今回初の全国大会出場もサークル創立11年の中で先輩方が築いてきたものがあったからこそ果たせた成果でした。多くの人との関わりがあり、支えられてきたことでの結果だということを忘れずにこれからも楽しく演奏を続けていきます。

日頃のご支援に感謝を込めて、これからもどうぞよろしく願いいたします。



琉大モダンジャズオーケストラのメンバー



ホームカミングデー
における演奏



琉大吹奏楽部OBによる琉大病院ロビーコンサート



平成29年8月25日(金)、琉球大学吹奏楽部OBによる琉大病院ロビーコンサート「夏の夜のミニコンサート」が行われました。琉大病院でのロビーコンサートは、患者さんなどへの支援ボランティアとして琉大職員、琉大管弦楽団、琉大音楽科学生・OBなどによる演奏等が行われていますが、当日は昭和40年代後半に琉大吹奏楽部に在籍

していたOBによりサクソフォン、クラリネット、フルート、三線などでクラシック、ジャズ、ポップス、民謡と幅広いジャンルの演奏が行われました。患者さんやその家族、病院職員、一般の方々約50名の聴衆はなじみの曲や癒されるメロディに聴き入っていました。



きっと もっと いい未来



沖縄タイムス社

代表取締役社長 豊平 良孝

〒900-8678 沖縄県那覇市久茂地2-2-2

☎ 098 (860) 3000 (代) <http://www.okinawatimes.co.jp/>



琉球大学究法会の伝統 —先輩が後輩を育てる—

弁護士 垣花 豊順

文理学部政治学及び法律学科 1957(昭和32)年卒 5期

琉球大学究法会は1970(昭和45)年2月ごろ、米国の統治下にある沖縄の明日を拓く意欲の溢れる学生と共に前途に明るい希望を持って勉強する目的で、学生と教員の勉強するサークルとして自然にできた会である。

私は1969(昭和44)年4月、琉球政府中央巡回検察庁(現在の那覇地方検察庁)検事から琉球大学教養部講師に転職した。

当時、沖縄の高校野球部の目標は甲子園に出場することであって、1勝することは夢だった。甲子園で優勝することは、夢の中の夢で、甲子園で優勝することを目標に掲げる高校野球チームはなかった。それと同じように、琉球大学から裁判官、検察官、弁護士になる司法試験、国家公務員のトップになる国家公務員上級試験に合格者を出すことは夢の夢であった。学力は数年遅れ、それらの試験に関する情報・資料は乏しく、指導者は皆無であったからである。

私は検察官の経歴はあるが、日本の司法試験を受験したことはない。ミンガン大学で修士課程を修了しているが、日本の大学院で専門に関する論文を書いた実績もない。琉大生から司法試験、国家公務員上級試験の合格者を出したいとの意欲を持つことは、甲子園に出場したこともない野球監督が甲子園で勝利することを夢見るようなもので、第三者から見るとドンキ・ホーテの考えであり、大学の同僚からそのことを指摘されたこともあった。

私は自分には司法試験を受ける学生を指導する経験、知識がないことを認識していたので、文章にはしなかったが次の方針に従って究法会の活動をすることにした。

- (1)自分の研究室を学生に開放し、自分も学生と一緒に勉強する。
- (2)司法試験受験生を指導する本土の指導者から学生とともに私も指導を受ける。
- (3)憲法に定める国民主権・人権尊重・恒久平和の3原則を実現するために、どのような観点から法律を勉強し、学生を指導すべきであるかについて説いて下さる先生を招いて教えを受け、法律家としてのものの考え方、人生の進路を誤らないようにする。

(1)については、私の研究室に学生が出入りすることは全く自由で、研究室はサークル室になった。研究室を使用するルールは学生が自主的に決めたので問題はなかった。

(2)については東京にある公認会計士、司法試験受験生を指導する反町勝夫社長(現在は〔東京リーガルマインド〕会長)を訪ねて司法試験受験に関する資料入手し、指導を受けた。反町社長から多くのことを学んだが、なかなか合格者を出すことは出来なかった。琉大卒で司法試験に最初に合格したのは、1974(昭和49)年に裁判所書記官を辞めて上京し、1977(昭和52)年に合格した幸喜令信弁護士である。幸喜氏に続いて合格したのは、1972(昭和47)年に上京し、1978(昭和53)年に合格した当山尚幸弁護士である。両氏が後輩を指導するようになって、宮國英男弁護士が1984(昭和59)年に沖縄で勉強して初めて司法試験に合格するようになり、1994年時点で、司法試験合格者は12名になった。

12名の合格体験記録は『明日をにないて』のタイトルで東京布井出版社から出版され、多くの学生に読まれている。

(3)については、弁護士出身で元最高裁判所長官の藤林益三先生を1981(昭和56)年5月に招いて、教養部の学生を対象に6日間集中講義をしていただいた。先生はご講義で法律家としてのものの考え方、日本国憲法の三原則である国民主権・基本的人権の尊重・恒久平和の根底にある理念は「真の個人主義」であり、社会に貢献する人を育てるためには各自の人格確立に向けて勉強し、指導することであることについて、分かりやすく説いておられる。

ご講義は録音して学生が筆記した原稿を私が見出しをつけて清書し、先生の推敲を経て『法律家の知恵』として東京布井出版社から出版されている。先生はご著書で「民主主義は真の個人主義ができてからでないと成立しない」ことについて、事例を挙げて説いておられる。

平成29年度は琉球大学法科大学院修了生6名が司法試験に合格している。平成19年度から29年に合格した学生の総計は56人である。この成果は九州では九州大学・熊本大学に次ぐ成果で学生の努力、教員の指導の賜物である。母校を愛する同窓会の活発な活動、継続的に琉大を支援する弁護士会、銀行、企業等の支援によって琉球大学の未来は明るく、さらに発展することは約束されている。



学部・学科同窓会総会概要等



●医学部医学科同窓会講演会・懇親会

平成29年7月16日(日)に医学部医学科同窓会講演会・懇親会がラグナガーデンホテルで開催されました。

本部からは照屋寛八副会長及び増田昌人副会長が出席しました。



医学部医学科同窓会総会・懇親会

●商学経営学友会総会・懇親会

平成29年10月16日(月)に商学経営学友会総会・懇親会がザ・ナハテラスで開催されました。

本部からは石川清勇副会長が出席しました。



商学経営学友会総会・懇親会

●音楽科同窓会「第60回記念発表会」 音楽は仲間たちのかすがい

琉球大学音楽科同窓会 前会長 照屋 寛 八



音楽科同窓会「第60回記念発表会」

ありがとう素敵な後輩たちよ!

「琉球大学音楽教育専修第60回記念発表会」が2017年3月10日うるま市響ホールにて開催されました。

琉大音楽科同窓会の特筆できる活動は、毎年恒例の“音楽科発表会”を応援しながら10年ごとの節目節目には学生の力をお借りし同窓会員も舞台上に立ち合同演奏でワクワク、ドキドキし若返ることです。

今回も首里キャンパス1954年入学の第一期生名渡山愛文氏・新島ユキ氏を先頭に学生も加え総勢120名が参加。同窓会員の琉大名誉教授糸数武博氏指揮の下オーケストラ伴奏で「琉大逍遥歌」、「琉球大学の歌」、「大地讃頌」を音楽好きな同志と共に大合唱することができました。

発表会実行委員長の大城眞衣子さんの礼状に「…卒業生の大先輩の皆さん方が積み上げてきた歴史と伝統があったからであり、この良い伝統を後輩たちへ引継ぎ、より一層良い演奏ができるよう勉強に励みたい…」のメッセージの肝高いバトンパスに意を強くしています。ありがとうございます。

先生方には、学生一人ひとりの個性に寄り添い、輝くご指導くださり感謝申し上げます。

2018年から新会長に素晴らしい菅間玉美さんをお迎えし会員一同喜んでいるところです。音楽科同窓会への尚一層のご協力よろしくお願いいたします。

文芸投稿コーナー

【短歌の部】

梅の木ノキノボリトカゲ捉えたる

夫と幼の会話の弾む

苗床の散水をおえ西空の

紅き夕映え仰ぎたたずむ

海面はるか慶良間島山靄かかり

寄り添う民家の灯りのおぼろ

(教育学部初等教育科十一期 伊佐節子)

瑠璃の海も尾花の白も輝かせ

はろばろ上り来スーパームーンは

みづみづと葉の伸び立てる水仙の

花芽ふくらむ朝の日差しに

〔首里城新春の宴にて〕

御座樂は前庭にながれ琉球の

武器持たぬ王の清き祈りよ

(文理学部国語国文学科十五期 湧稲国 操)

【俳句の部】

七曜にひとつ足すなら児の瞳

天と地の啐啄弾むうりずん南風

セシウム禍月も案山子も傾いて

(教育学部保健体育学科一九六八年卒 神矢 みさ)

さがり花の香りに濡れたまま眠る

ひと越えて故郷広がる基地フェンス

螺旋階段に降り積もってる流星群

(法文学部国語国文学科一九六八年卒 平敷 とし)

【川柳の部】

十代の 逸材続出 国咄然

皿洗う 感謝の言葉 特になし

戸締まりを 確認しすぎ 錠壊す

【琉歌の部】

砂に語いぶさ

川の水清らさや

恵ぬ空手とう

伸びる命

(小市民)

解説 社会貢献されておられる砂川恵伸先生に語りたいです。宮古島の川の水が清らかであることのすばらしさは天からの恵みを受けた恵伸先生の空手姿とおなじく命が伸びるように感動しております。

※砂川恵伸先生…私が大学院時代の琉球大学12代学長
(平成二年六月一日～平成八年五月三十二日)

(保健学部保健学科卒 大湾知子)

絵画



(望郷)

昭和 46 年卒 19 期 法文学部美術工芸科
鎮西 (本名：具志堅) 公子

書



昭和 39 年卒 11 期 教育学部体育科 亀川 爵

押し花



(初夏のかおり)

昭和 38 年卒 12 期 教育学部体育科 当真 邦子



寄 附 情 報



同窓生及びその他の方々より多大なご寄附をいただいております。心より厚く御礼申し上げます。

いただきました浄財は同窓会活動の資金として有効に活用させていただきます。

1万円以上のご寄附を
いただいた方々

大城 肇様 (琉球大学学長 22 期)、安里祥徳様 (5 期)、
嶺井政治様 (元沖縄県副知事)、中野清光様 (5 期)、仲本喜一様 (28 期)

同窓会では、随時寄附金の受付をしていますので、ご協力よろしくお願ひいたします。

なお、寄附金の払込に際しては同窓会事務局(098-895-8039)までご連絡願ひます。

宜野湾市最大級プロジェクト 「プレミスト宜野湾大謝名」



PREMIST

プレミスト宜野湾大謝名
PREMIST GINOWAN OJANA



外観完成予想図

建物内モデルルームオープン(予約制)

■建物内モデルルームのご案内について/①ご見学は、**日曜日のみの開催**(プレミスト宜野湾大謝名マンションギャラリーは、定休日/火・水曜日(祝日を除く)以外、公開中)となります。②ご見学は《予約制》となっておりますので、フリーダイヤルもしくは公式サイトより事前にご予約ください。尚、工事の進捗状況により、ご見学を控させていただく場合がございます。③ご見学当日は、プレミスト宜野湾大謝名マンションギャラリーへお越しください。またお車でお越しの際は、マンションギャラリー「お客様専用駐車場」をご利用ください。※209号室は平成30年2月より建物内モデルルームとして使用。※現地周辺の航空写真(平成28年10月撮影)にCG加工を施しています。※掲載の完成予想図は設計図書を基に描いたもので、実際とは多少異なる場合があります。官公庁の指導、施工上の都合等により建物の形状・色調・植栽等に多少変更が生じる場合がございます。植栽はある程度生育した後にイメージしたもので、竣工時には完成予想図ほど成長しておらず、実際とは多少異なる場合があります。※車は販売価格に含まれません。※1.「宜野湾市最大級」について、宜野湾市内分譲マンションにおいて、本物件の総戸数115戸の規模が過去供給物件の中で最大規模となります。(株)東京カントリー調べ(2017年12月1日時点)

売主

大和ハウス工業

TEL.098(941)7117

お問い合わせは
「プレミスト宜野湾大謝名」
マンションギャラリー



0120-015-115

営業時間/10:30~19:00

定休日/火・水曜日(祝日を除く)

※携帯電話からもご利用いただけます。

おいしい幸せ
オキコ



What legacy will you create?

どんなプロフェッショナルになりますか？
今、あなたのキャリアが広がる

EY税理士法人 沖縄事務所
詳細はこちらへ www.eytax.jp/careers

■ ■ ■ ■ ■
The better the question. The better the answer. The better the world works.

© 2016 Ernst & Young Tax Co. All Rights Reserved. ED: 0637 / Japan Tax SCORE 2016/06/06



株式会社 めちまーす

〒904-2423 沖縄県うるま市与那城宮城2768
TEL : 098-983-1111 / FAX : 098-983-1112

めちまーす 検索

化学の種をまこう 沖縄の未来のために



昭和化学工業株式会社

〒904-2201 うるま市字昆布 1455 番地
TEL098-972-6611 FAX098-972-3541
<http://www.showa-kagaku.co.jp>



JAおきなわ総研推進協議会

沖縄 あぐー

県産豚の味を
あぐーの味を
あぐーの味を
あぐーの味を

監製 沖縄県食肉センター
監製所 (株) 沖縄県食肉センター (国産食肉)

〒901-1203 沖縄県南城市大里字大城1927番地
TEL (098) 945-3029 FAX (098) 945-3742
<http://www.pig-osc.jp/>

● ご案内・お願い ●

平成30年度「定期総会」等開催のご案内

期 日	平成30年7月28日(土)12時～
場 所	ホテルロイヤルオリオン 那覇市安里 TEL 098-866-5533
日 程	支部長会 12時～13時30分 定期総会 14時～14時50分 講演会 15時30分～17時 懇親会 17時30分～19時

■ 講演会

テーマ

「沖縄の発展を担って・その2」

講 師 稲嶺 恵一氏(元沖縄県知事)

小塚 邦男氏(琉球放送(株)代表取締役最高顧問)

会費納入についてのお願い

本同窓会は同窓会費を財源として、会報発行による会員相互及び大学との連携にかかる情報の提供、学生支援のための大学への寄附、学生の就職支援のための無料講座の開設及び社会貢献活動の一環としての講演会等の開催など多岐にわたる活動を行っています。

- 同窓会費は入会金1万円、終身会費1万円、計2万円となっています。
- 会費の納入は、従来の郵便局での払込に加え、コンビニエンスストア及び銀行での払込も可能になりました。

会費納入にご協力を賜りますようお願い申し上げます。

なお、会費納入については、払込の案内及び払込書を送付しておりますが、ご質問等があれば同窓会事務局(098-895-8039)までご連絡願います。

表紙写真(学舎)の今昔



首里キャンパス時代(昭和40年代)の法文ビル、教育ビル、土木ビル(左から)

(本館から望む)



千原キャンパス(現在の教育学部棟、文系総合研究棟、法文学部棟(左から))

(附属中学校から望む)

同窓会会長・副会長・事務局員

会 長 幸 喜 徳 子
副 会 長 儀 保 博 信
副 会 長 照 屋 寛 八
副 会 長 石 川 清 勇
副 会 長 上 原 正 信
副 会 長 増 田 昌 人

事務局 長 山 里 将 順
事務局 次 長 平 良 政 勝
総務部 長 田 仲 康 克
書 記 喜 名 順 子

【会報第40号編集委員】

編集委員長／上原 修

副委員長／玉城きみ子

編集委員／儀保博信・当真邦子・中村一男

加賀美英志・宮城重哲・平井りい子

前泊美紀・友利直子

琉球大学同窓会会報第40号

編集発行 琉球大学同窓会

〒903-0213 沖縄県西原町字千原1番地

Tel:098-895-8039 Fax:098-895-8163

E-mail: r-dousou@to.jim.u-ryukyu.ac.jp

HP: http://www.u-ryukyu.ac.jp/univ_info/dousoukai/

印 刷 新星出版株式会社